



## 西村俊昭

- 環境省 住民参加による低炭素都市形成計画策定モデル事業委託業務(住民ニーズの高い「食」「エネルギー」「ケア」を核とした低炭素田園都市形成計画:滋賀県蒲生地区 まちづくり計画)(2013~2014)
- 滋賀県湖東の森づくり支援事業(2013)
- 滋賀県東近江市 持続可能な薪炭林の再生の東近江モデル構築プロジェクト(2012)
- 滋賀県東近江市 薪の需要量・森林管理の意向調査(2011)
- 京都府京丹後市 地域バイオマス利活用高度化調査(生ゴミ分別収集及びメタン発酵液肥利用検討調査分析)(2010~2011)
- 滋賀県東近江市 緑の分権改革事業推進事業(薪PJ、B5PJ、バイオ燃料用米PJ)(2010)
- 近畿地域 バイオマス資源利活用可能性調査業務(近江八幡市ヨシ)(2010)
- 奈良県 資源循環プロジェクト(2009)
- 滋賀県湖北町 バイオマスタウン構想(2009)
- 兵庫県神河町 バイオマスタウン構想(2009)
- 岡山高梁市 バイオマスタウン構想(2009)
- 環境バイオマス総合対策推進事業のうち地域に根ざした環境バイオマスの意識改革(近畿地域事業)~実施調査~(2008)
- 自然に優しい持続可能な循環型地域総合開発に向けた適用可能性調査~ベトナムタイビン省におけるケーススタディ~(2006)
- 滋賀県東近江市 バイオマスタウンモデルプラン作成調査(2006)
- 農業用水の活用による小水力発電等のクリーンエネルギー対策(2006)
- 京都府亀岡市 バイオマスエネルギー利活用詳細ビジョン(2004)
- 有機資源の地域循環システムに係る適用可能性調査~中国雲南省昆明市におけるケーススタディ~(2004)
- 島根県 バイオマス総合利活用計画書(2003)



# 低炭素社会実現へ あらゆる力を結集



「Fun to Share」とは  
地球温暖化対策のために、今年度新たにスタートした気候変動キャンペーン。豊かな低炭素社会づくりに向けた知恵や技術をみんなで共有し、発信していく活動です。

## 活動事例紹介

### 東近江発 『薪(まき)プロジェクト』 による緑のイノベーション

田舎暮らしの流行などで薪ストーブが注目されています。薪はCO<sub>2</sub>を吸収して育つため、燃やしてもCO<sub>2</sub>を増加させない「カーボンニュートラル」な燃料です。滋賀県・東近江市では昔から「薪炭林」として里山が活用されてきましたが、近年は里山が放置され荒廃が進んでいました。そこで里山から原木を切り出し、地域の人たちの力で薪にして販売し、持続可能な流れを作るといふプロジェクトをスタート。採算性を高めるため自治会や林業者だけでなく、ボランティアや福祉施設の方々のかみ借り、事業として成立させました。今では年間100トンの薪を生産し、販売しています。



ボランティアなどの協力で進む薪づくり

### 2012年度 JT NPO助成事業～地域コミュニティの再生と活性化に向けて～ 森も人も地域も笑顔になれる モリスマイルプロジェクト Mori Smile



持続可能な薪炭林再生の東近江モデルづくり

### 引きこもり経験者ら 仕事体験

## 「中間的就労」自立へ一歩

まきの加工販売店「薪遊庭」に入社。約3年半で28人が(東近江市)で4月上旬、引「卒業」し、全員が企業などに就職した。  
ある20～40代の男性5人が、「薪プロジェクト」と名付けられたこの取り組みは、同店や東近江市、障害者の就労支援団体、働き、暮らし応援センター(近江八幡市)が共同で2010年に始めた。東近江市の総面積の56%を占める森林の荒廃を止め、イノシシやシカによる作物被害を減らすのが目的。そのため、地域の

### 東近江で先進取り組み



黙々と木を削る作業を続ける薪プロジェクトの参加者。機械の駆動音が大きくて話しかけにくい。コミュニケーションが苦手な参加者については逆に気楽という(東近江市)

薪プロジェクトは、循環型社会を実現する取り組みとしてだけでなく、「中間的就労」の場としても注目されている。中間的就労は引きこもりやニートのほか、長期間失職している人や未就職の高校中退者らすぐに企業などで働かない人たちの就労体験や社会参加の場とされる。国は、2015年4月施行の生活困窮者自立支援法の支援策に中間的就労を盛り込み、全国で広める方針だ。(田代真也)

エネルギー資源であるまきを持続的に利用する仕組みを模索してきた。その中で、引きこもり経験者や明確な障害はないが、林業者によって山から切り出された木のまき削りを担う今の方法に行き着いた。

## 湖流

(面)

## 社会に一役自信回復

障害者の就労支援を行うNPO法人「滋賀県社会就労事業振興センター(草津市)」は11年か

れば、中間的就労を始めようという事業所は少ないのでは」と指摘する。  
こうした声に対し「厚生労働省生活困窮者自立支援室の熊木正人室長は「メリットを少なくしたのは、貧困ビジネスを防ぐため」と説明する。メリットを多くすれば、生活困窮者を低賃金で酷使する「貧困ビジネス」が横行する危険性があるという。一方で、初期経費の助成や税制優遇、商品や仕事の優先発注は必要との意見もあり、同省は法施行までに検討を進める。  
東近江市で取り組まれている「薪プロジェクト」は、森林の荒廃や獣害被害といった地域の課題の解決を目的とした。誰かの役に立つことは生活困窮者に限らず、働きがいを感じやす。薪プロジェクトを考えた市まちづくり協働課の山口美知子主任は「農業や林業の分野では、人手不足が深刻になっている。中間的就労をきちんと一般就労につなげるためには、こうした地域の課題を見つけ、仕事を担い起こすことが必要だ」と強調する。(田代真也)

# 薪プロジェクト



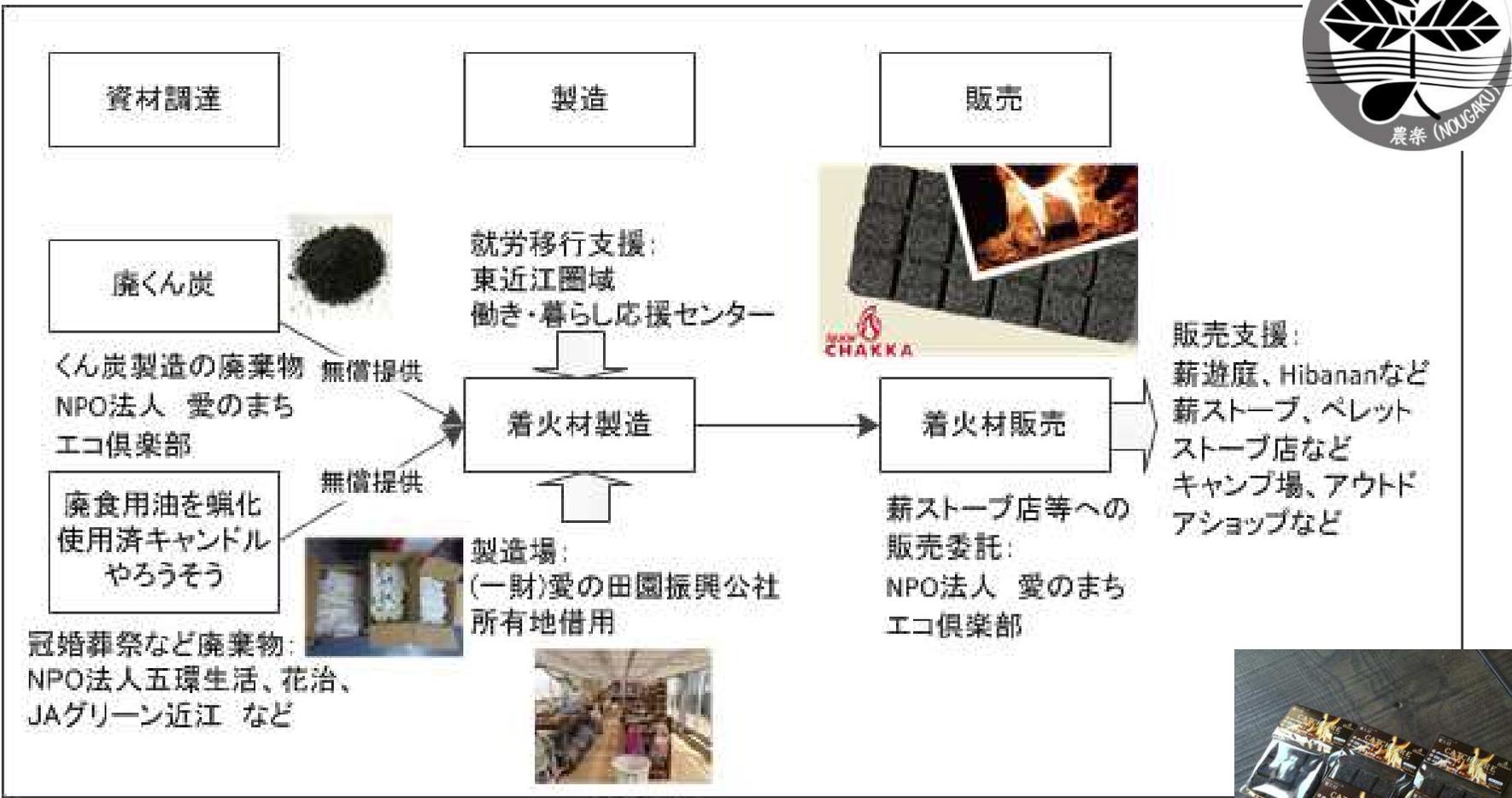
### マニュアルの構成

マニュアルの構成は下図のとおりです。

構成	内容
第1章 マニュアルの使い方を知ろう	1)背景、2)目的、3)対象読者、対象範囲、4)構成
第2章 森林整備の効果を知ろう	1)獣害対策、2)ナラ枯れ対策、3)多面的効果、4)整備後の森林のようす
第3章 森林整備の手順を知ろう	1)集落合意と推進体制、2)所有者調査、3)森林経営計画、4)森林整備、5)整備後の管理
第4章 合意形成と推進体制	1)自治会で合意を得よう、2)集落全体で森林整備に取組む意義や理由、3)推進体制
第5章 森林の所有者状況を調べよう	1)調査の成果、2)地籍図の作成手順、3)土地台帳の作成手順
調査の成果・手順を掴もう	1)森林簿、森林計画図の入手、2)森林計画図の転記、3)公図の写しの入手、4)森林計画図の補正、5)地籍図整理
地籍図を作成しよう	1)土地台帳の様式作成、2)固定資産税納税通知書、3)登記簿の写しの入手、4)土地台帳の整理
土地台帳を作成しよう	1)連絡先を調べる、2)交渉、3)所有者と覚書を結ぶ
不在地主の場合の処理	
第6章 森林経営計画を策定しよう	1)概要、2)要件、3)相談先、4)森林経営計画策定の流れ
森林経営計画とは	1)契約締結までの流れ、2)契約主、3)契約書、4)委託費用
森林組合等と委託契約を結ぼう	1)計画書の内容、2)認定基準、3)集落で検討するポイント
計画書の内容や認定基準を知ろう	1)概要、2)要件、3)費用、4)森林整備の流れ、5)精算方法
第7章 森林整備をしよう	1)利活用、2)池之脇地区の利活用事例、3)維持管理
第8章 整備後、どのように森林を維持するか考えよう	

図 マニュアルの構成

# TEAM CHAKKA



TEAM CHAKKA：  
地域共生型の着火剤づくりによる就労移行支援事業の  
全体マネジメント、着火剤の資材調達・製造・販売